

## 現在の神戸港の状況－振り返る神戸港－



昭 59.12.24 神戸港全景  
昭和 47 年から六甲アイランドを着工し建設中。



平 5.11.9 神戸港全景  
平成 4 年に六甲アイランド竣工  
昭和 62 年からポートアイランド第二期工事を着工し建設中。



現在の神戸港【提供：神戸市みなと総局】  
平成 22 年にポートアイランド第二期工事完了  
兵庫埠頭、新港、摩耶埠頭においても岸壁の埋立工事が完了している。



神戸空港【提供：神戸市みなと総局】  
平成 18 年に神戸空港が開港。

## 震災時の神戸港



新港第 1 突堤から新港第 4 突堤

新港第 3 突堤の基部には監視部庁舎、神戸税関本館、第 1 分館、第 2 分館、分庁舎が設置されている。



ポートアイランド第 2 期工事



新港第 5 突堤から第 8 突堤



摩耶埠頭第 1 突堤から第 3 突堤（コンテナターミナル）

## 現在の神戸港



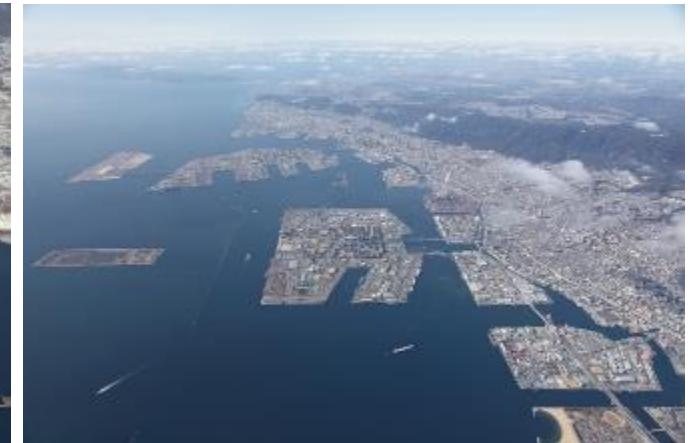
中突堤、新港【提供：神戸市みなと総局】

新港第1突堤から第4突堤。新港第4突堤はポートターミナルが設置されており、中突堤とともに客船が入港するため旅客ターミナルが設置されている。



新港東埠頭及び摩耶埠頭【提供：神戸市みなと総局】

新港第5突堤から第8突堤は、平9.4.1に新港東埠頭に名称変更され、平10.7埠頭が埋め立てられた。平9.4 摩耶埠頭第1から第3埠頭が埋め立てられた。



東部工区【提供：神戸市みなと総局】

六甲アイランドの北側に東部第1工区から東部第4工区が立地されている。



兵庫埠頭【提供：神戸市みなと総局】

平9.4に兵庫突堤から兵庫埠頭に名称変更され、兵庫埠頭第1突堤から第3突堤まで埋め立てられた。



ポートアイランド【提供：神戸市みなと総局】

昭和56年に第一期工事が完了し、昭和62年に第二期工事を着工し、平成22年に竣工。水深15~16mの大水深高規格コンテナターミナルが整備されている。



六甲アイランド【提供：神戸市みなと総局】

平成4年に竣工。水深14~15mの大水深コンテナターミナルが整備されている。



メリケンパーク及び中突堤  
昭和 62 年にメリケン波止場と中突堤間を埋め立てて造成。



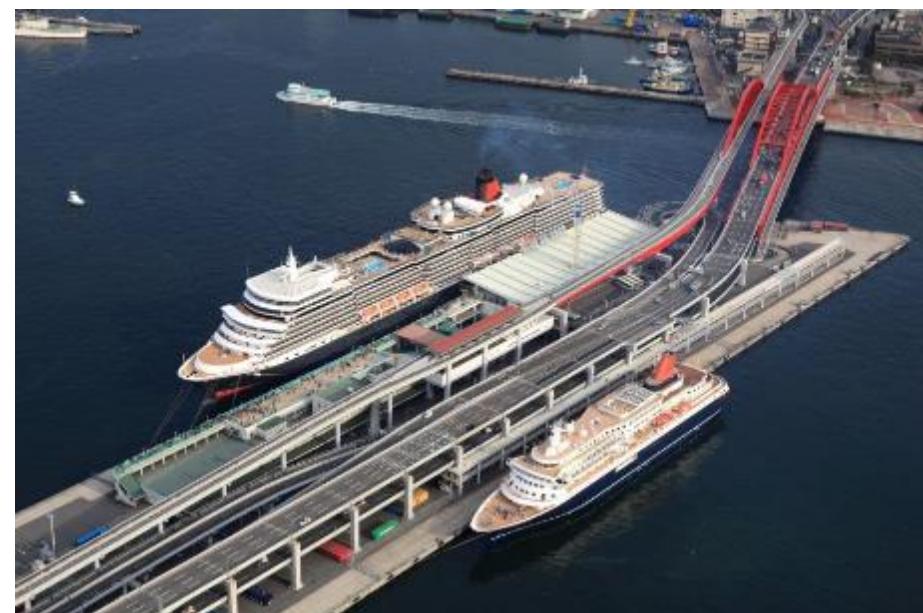
海上からみた神戸港



平 18.2.16 に開港した神戸空港



中突堤【提供：神戸市みなと総局】  
外航クルーズ客船が入港する岸壁であり、平成 18 年にメリケンパーク  
オリエンタルホテル内に中突堤旅客ターミナルが設置された。



新港第 4 突堤（神戸ポートターミナル）【提供：神戸市みなと総局】  
外航客船、国際フェリー用埠頭であり、昭和 45 年 4 月に竣工されたターミナル  
ビルには旅客ターミナルが設置されている。



メリケンパークに設置されている神戸ポートタワーと神戸海洋博物館は、「みなと神戸」を代表する建物の一である。



ライトアップされた神戸大橋。日本初のダブルデッキアーチ型鋼橋



日本三大夜景の一つと言われる神戸の夜景は、昼の神戸と異なる魅力に溢れている。